



自治労HP



ご意見  
フォーム



# ウチ35

自治労中央機関紙

発行所

全日本自治団体労働組合  
東京都千代田区六番町1  
TEL 03-3263-0273  
FAX 03-5210-7422  
定価一部30円  
(組合員の購読料は  
組合費の中に含む)

## 特別企画

# 関東大震災100年を振り返る 未曾有の都市災害の教訓を記憶に刻む

1923年9月1日11時58分、相模湾を震源域とする推定マグニチュード7.9の揺れが首都圏を襲った「関東大震災」。190万人が被災し、10万5,000人あまりが死亡あるいは行方不明になったと推定されている。「首都直下型地震」「南海トラフ地震」の可能性が危惧される今日、日本の災害史上、最大のインパクトを社会に与えたこの震災を振り返り、教訓をかみしめみたい。

高麗博物館前館長・新井勝紘氏所蔵



「関東大震災絵巻」(1926年作)の朝鮮人虐殺の場面。2021年に発見された。作者の「淇谷」は、福島県で小学校教員をしていた大原弥市氏の雅号であることが判明している。倒壊する家屋や火災から逃げ惑う人たちの姿に加え、巻末には警察官や自警団が朝鮮人と思われる人々を殺戮する様子が生々しく描かれている。高麗博物館(東京・新宿区)の企画展で展示中(2面参照)

## 「朝鮮人虐殺」という重い教訓

関東大震災では、「流言飛語」により多数の朝鮮人、中国人や、誤認された日本人、「社会主義者」などが、警察や軍、「自警団」によって虐殺された。その事実は、災害から生命や安全を守ることを考える上で、重い教訓を私たちに投げかける。

「朝鮮人が暴動を起こした」「井戸に毒を入れた」等の流言が広がる中、これを信じた政府は誤報を拡散させ、戒厳令を発令。市民による虐殺に「お墨付き」を与えた。警察と軍も殺害行為を引き起こした(関連記事2面)。

SNSの情報伝達力が防災に役立つ反面、流言の拡散力も格段に高まっている。「令和5年版防災白書」も、この点を指摘し、注意を喚起している。



千代田区大手町「大手塚緑地」にある「震災イチヨウ」。震災の火災での焼失を免れ、復興のシンボルとされた

## 「復興」問われた初の大規模災害

関東大震災は、「国家存亡の危機」と言って過言でない規模の被害をもたらした。関東大震災は、死者・行方不明者数は東日本大震災の約1万8000人の約5倍で、人口比を勘案すると約10倍の被害となる。経済被害はGDP比で36・7%に相当し、東日本大震災(3・4%)の約10倍だ。

死者の死因の多くは、失火による焼死。被害は隅田川東側地域に集中した。特に

関東大震災は、近代国家・日本が初めて経験した大規模都市災害であり、「復興」が政策課題となった初めての災害であった(下冊みに関連記事)。

関東大震災は、近世代に本所区の陸軍被服廠跡(現・横網公園)では、3万8000人が焼死する大惨事となった。関東大震災は、東京の被害のイメージが強いが、震源域に近い神奈川県では全壊家屋数が東京を上回るなど、甚大な被害が発生している。

## 東京・横浜 震災の爪痕と復興建造物を訪ね歩く



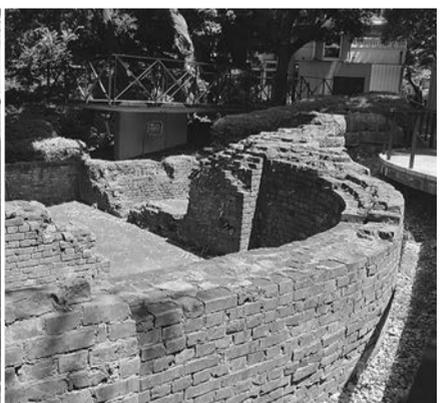
■九段小学校(東京都千代田区)  
自治労本部から徒歩5分。「復興小学校」として、最先端技術を用い鉄筋コンクリートで建てられた。当時のヨーロッパ風建築の気品が漂う。防災・避難場所の機能を持つ「復興小公園」である「上六公園」(現・東郷元帥公園)が隣接している。



■永代橋(東京都中央区一江東区)  
明治期に移設され日本初の鉄橋として作られた。しかし橋底の基部や橋板に木材を使用していたため震災の火災で炎上。多くの人が焼死・溺死した。後に、震災復興事業としてドイツの鉄橋をモデルに再建された。国の重要文化財に指定されている。



■開通合名会社の煉瓦遺構(横浜市)  
神奈川県庁近くに残る、明治時代に建てられたと推定される日本人商社の社屋の一部と思われる壁面。関東大震災で倒壊したが、震災後の復興建築の内部に残されていたものが、2014年に建物を解体した際に発見され、保存されている。



■山手80番館遺跡(横浜市)  
横浜市・元町公園の中に残る外国人住宅の遺構。斜面に建てられた3階建ての建物(鉄筋補強煉瓦造)の地下室と基礎部分が残る。耐震上の考慮はされていたが、床部のせり上がりや壁の亀裂が見られるなど、地震のすさまじさを物語る。

### 朝鮮人虐殺 事実と教訓

# 民族差別と憎悪が虐殺に帰結 流言の防止は地域防災の課題

地震が起こったのは9月1日の11時58分。強風が吹いていたため火事が広がりました。混乱と恐怖、不安の中から、おそらくは自然発生的に、「朝鮮人が放火した」「井戸に毒を入れた」などの流言が広がり、その日の夜には武装した「自警団」による朝鮮人への暴行・虐殺が始まります。

また、2日には戒厳令が敷かれ、武装した兵士が展開するのを見た市民は、「やはり朝鮮人が騒いでいるからだ」と、流言をますます信じることとなります。

9月3日には治安行政を担う内務省警保局が「朝鮮人は各地に放火し、不逞の目的を遂行せんと」としている」と全国に打電しました。

これによって、千葉や埼玉などでは県から市町村に自警団の結成が指示され、被災地から離れた地域での虐殺事件につながります。

出動した軍も朝鮮人の暴動を信じていました。ちょうどシベリア出兵や間島出兵での対ゲリラ戦の中で、住民を殺した経験を持っていた軍は、実に手際よく無慈悲に朝鮮人を虐殺していきます。

3日になり警察や軍は、流言が間違いであることに気づきます。しかしきつぱり否定しきれず、戒厳司令部が虐殺を「絶対に慎め」と命じるのは9月6日です。

その後、政府は事件の隠微をはかりません。今日、殺害された人の正確な人数や名前はまだわかりません。ちゃんと調査していかないことが異常なことですが、「1000人は下らない」という程度のことしか言えません。

### 流言に警察が「お墨付き」

問題は、警察がその流言を信じ広めたことです。9月2日午後5時頃、警視庁は「不逞者に対する取締を厳にして警戒せよ」との通達を各警察署に発します。



加藤直樹さん  
1967年生まれ。下記囲み記事掲載の著作のほか「謀叛の児」(河出書房新社)など



「韓国・朝鮮人殉難者追悼乃碑」(墨田区八広)。2009年に市民グループによって、荒川・旧四木橋付近に建立された。この場所で、軍により大勢の朝鮮人が機関銃で射殺されたとの目撃証言がある。

「差別と恐れ」が虐殺の原因  
災害の時は流言が起るものと言われますが、なぜ「朝鮮人が」放火した、なのかが問題です。

日本の植民地であった朝鮮では1919年に「3・1独立運動」が起こり、日本政府は厳しく弾圧します。メディアは抵抗する朝鮮人を「不逞鮮人」と呼び怪物イメージを作り上げ、憎悪と恐怖を植え付けていました。

3日になり警察や軍は、流言が間違いであることに気づきます。しかしきつぱり否定しきれず、戒厳司令部が虐殺を「絶対に慎め」と命じるのは9月6日です。

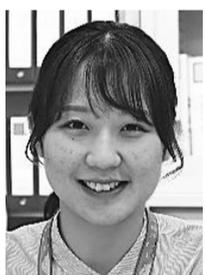
た。だから「朝鮮人ならやりにかたない」と思ったので、加えて、朝鮮人への差別、激しい蔑視がありました。当時、いたずらで放火した。005年、アメリカ南部を襲ったハリケーンによる水害の際には、黒人が略奪や強姦を働いているという流言が広がり、自警団の発砲で死者が出ています。

自治体は、流言防止を防災条例や防災計画に位置付けるべきです。行政が流言を止めることで、住民の命が守られるのです。

### 流言防止は行政の責任

虐殺事件は昔のことではない、と言え、東日本大震災が守られるのです。

## 鯖江市役所JK課 卒業生が市職員に



JK課を機に市役所に就職した小森さん



鯖江市と関わり続けた小森さん

## ある若年層組合員の仕事への想い 「鯖江のために役立ちたい」 「達成感も伝えていきたい」

「市民役所「市民協働」のまちづくりの一環で福井県鯖江市が行うプロジェクト「鯖江市役所JK(女子高校生課)が、今年で10年目を迎えた。JK課の設立には地元丹南市民自治研センターも関わり、女子高生の多様な活動を後押しし、まちづくりの裾野を広げてきた。参加者は延べ139人。そのうちの2人が今、鯖江市役所の技師として働く。

「自分が設計したものがそのまま形になる。設計者の判断が試される場面も多く、うまくいった時はうれしい」と入庁3年目になる小森加奈子さん(写真上)は話す。

先日、ある区域でU字型の側溝を蓋つきの側溝に交換した。歩行者の落下や脱輪を防ぐことになり、地元市民からは「安心して通れるようになった」と喜んでくれたそうだ。「学生っぽさが抜けて大人になっ

たね。入庁2年目の加藤歩さん(写真下)は先輩から声をかけられるようになった。施設の改修や監理を担当する加藤さんは「関係者間の調整では、すぐに約束できないことをどう伝えたらいいのか悩むこともある。そんな時は上司の言葉遣いをまねてみます」と言う。工事が完了した後は達成感に浸る一方、上司の指摘で気づかされることも多い。「まだまだ目の前の作業で精一杯ですが、利用者の要望に配慮できるように視野を広げていきたい」と話す。

二人とも鯖江市にある福井工業高等専門学校の在学中にJK課を経験。ピカピカプランと名付けられたしみながらまちをきれいにした。

鯖江市役所を志した理由を加藤さんは「鯖江への愛にあふれた市民が多いと感じて、その方たちの役に立

たいと思った。JK課の担当職員の方々は私たちに寄り添い、実現したいことを叶えるために奔走してくれた。そんな大人の皆さんと働いてみたかった」と語った。

小森さんは鯖江市役所で働いて「市民の方々からかかってくる道路等の異状の連絡や要望のお電話が、今後に生かせる視点をいただくことがあります。ときには感謝を伝えるために電話をかけてくれる方もいて、ありがたい。言葉でいいたくない時は仕事をしながら感じる瞬間です。先輩が入ったら仕事の楽しさも伝えたい」と言う。

あの頃の充実感や市民との関わりが二人の中に今も息づいている。

**JK課OGの存在心強く**

鯖江市職労委員長山形尚輝さんは「高校生時代から市政に携わってきた経験を持つ二人の存在は心強い。JK課は新たな気づきを与えてくれる。職務に専念する組合員を支援するため、職員と使用者の双方と意見交換を進めていきたい」と話した。

幸せは、ひとりじゃつくりえない。

**団体生命共済**  
こくみん共済 NEWS  
5122F070

**がんの備えも  
団体生命共済で**

すべての医療コースにセットされています!

●がん診断共済金  
●上皮内がん診断共済金  
→2年に1回を限度に複数回払い(一定の条件を満たした場合)

●1回あたり1,000万円限度の「先進医療共済金」も、すべての医療コースにセットされています。

不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください

契約にあたってはパンフレットをご覧ください

こくみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部  
全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。